

オンライン授業でも「生徒主体」

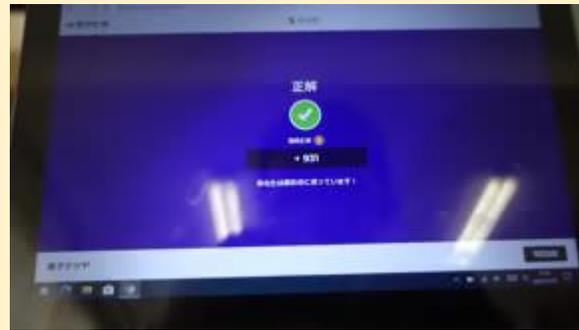
使用アプリ：SKYMENU、Kahoot！

オンライン授業が徐々に浸透していく中で、家庭での学習への配慮も少なからず求められています。また、教師が一方向的にICTを使うだけではなく、生徒主体となって学びを深めるための実践例が各教科で行われています。

習字の学習の場面で、1回目に書いた作品と1番上手に書けた作品を比較する取り組みを、タブレットのカメラとSKYMENUを用いて行いました。家庭からのアクセスも可能で、全体で共有しながら、教科担任から好評がありました。新しい取り組みでしたが、習字の上達は一目瞭然でした。



 授業風景（動画：約14秒）



 授業風景（動画：約19秒）

英語：オンラインクイズ対決

入試対策の一環として、これまでの文法や不規則動詞など、Kahoot！を用いて楽しく真剣に復習する授業を行っています。事前に作成した問題を、教室とオンラインの双方から回答し、早さと正確さを競っています。ゲームの要素もありながら、今の時代に合った方法とも考えられます。